

MiTA

2014/3/14

Vol. **50**

水島ポートニュース

Mizushima International Trade Association



特 集

「水島港セミナー in バンコク」を初開催 ～水島港への集荷・タイ航路開設を目指して～

Contents

- ・タイポートセールス報告
- ・水島港国際物流センター(株)が港湾運営会社に指定
- ・JFE西日本フェスタinくらしきへ出展
- ・国際定期コンテナ航路新規開設
- ・水島港国際コンテナターミナル12m耐震岸壁及び6号埠頭供用開始式典開催
- ・水島港の外貿定期コンテナ航路等の紹介

水島港の優位性をタイでアピール

「水島港セミナーinバンコク」を初開催

水島港への集荷・タイ航路開設を目指して

レセプション開催状況



平成25年10月27日から30日までの4日間、タイ・バンコクにおいて、中谷庄吾MITA理事（水島港運協会副会長）を団長とするMITA訪問団13名で、ポートセールス活動を実施しました。

今回の訪問では、船会社、荷主企業、物流企業等を対象に、「水島港セミナーinバンコク」(参加者29社、47名)を開催しました。

始めに、中谷団長から「日本が最大の貿易相手国であり、また高い経済成長が続くタイでセミナーを開催し、水島港の物流環境の利便性をPRし、水島港の利用を」検討頂く契機として頂き

たい。」と挨拶がありました。

引き続き、タイ日本通運(株)の小島紀浩バンコク海運貨物支店長から「タイ物流事情について」と題して説明がありました。

続いて東南アジア総合プロモーションでタイを訪問中の伊原木県知事、MITA会長が冒頭、私も2年前まで経営者であり、皆様方の利益にならなければ水島港の宣伝だけでも意味がない。」との強い思いを述べ、「古くからコンテナ航路の拠点であった神戸港を継承して使っている荷主の方は多いが、水島港では、平成14年の国際コンテナターミナル供用開始から順調に成長を続け、いまや輸送トータルコストなど総合的に検討すれば必ずしも神戸港が有利とは限らないところまで来ている。

このほか、かつて水島―タイ航路を有していたワンハイラインズ社及びタイのコンテナ船社であるRCL社を敬訪問し、水島港への航路開設の要望や、水島港利用における課題等について意見交換を行いました。併せて、世界でも有数の取扱貨物量を誇るレムチャパン港の視察では、上組「ESCO社」コンテナターミナル及び、タイ日通の誇る「レムチャパン・ロジステックスセンター」等を訪問し、最新の港湾のあり方や施設の管理運営等について意見交換を行いました。



さらに、天候が安定し、倉庫面積が中四国随一であり、渋滞の少ない水島港では、物流の定時制が確保できるなど神戸港と比較して有利な面も多い。」と水島港の優位性をPRしました。

最後に、中谷団長から「水島港では、近年の取扱貨物量の伸びや定期航路

の充実などを背景に神戸港との格差は縮小しており、現在神戸港を利用して



伊原木県知事 (MITA会長)



小島タイ日本通運(株) 支店長



中谷水島港運協会 副会長(訪問団団長)

ポートセールス実施状況



WAN HAI LINES社 訪問



RCL社 訪問



ESCO社 訪問



タイ日通(HI-TECH NITTSU)の皆様と訪問団

JFE西日本フェスタinくらしきへ出展

平成25年11月3日、MITAでは、JFEスチール株式会社西日本製鉄所（倉敷地区）で開催された「JFE西日本フェスタinくらしき」に出展しました。

JFEフェスタへの出展は今回で5回目となりますが、水島港へ寄港する船会社と代理店のご協力により、40フィートコンテナ（約12m）をJFEフェスタ会場に搬入し、コンテナ自体を見てもらうとともに、コンテナ内部を展示場としました。

コンテナ内では、水島港開港から現在までに至る歴史を集めた貴重な写真を始め、水島港において取り扱われている貨物や定期コンテナ航路紹介などのパネル展示の他、テント内において



は、荷役体験機によるアトラクションが好評で、午後からはあいにくの雨となりましたが、多数の方にご来場いただきました。

MITAでは今後とも様々な機会を利用して、広く一般の方にも水島港の状況を理解していただけるよう活動を行っていきます。



水島港国際コンテナターミナル12m耐震岸壁及び6号埠頭供用開始式典開催

平成25年11月10日、水島港国際コンテナターミナルにおいて、国土交通省中国地方整備局と岡山県が整備してきた12m耐震強化岸壁及び6号埠頭の供用開始式典が開催されました。

このたび新たに供用したのは、耐震機能を強化した岸壁（水深12m）1バースと埠頭用地（約4ha）です。

主催者として伊原木岡山県知事は、「水島港ではガントリークレーン1基を増設し、3基体制が整うとともに、新たな航路開設に向けてポートセールスを強化しており、水島港のさらなる利用促進に努めたい。」、また伊東倉敷市長は、「今後とも多くの方の支援を受けて、水島港が世界で利用されるよう地元として頑張りたい。」と挨拶されました。

来賓として、橋本岳衆議院議員、柚木道義衆議院議員、池田道孝衆議院議員、石井正弘参議院議員、谷合正明参議院議員、渡辺英気岡山県議会議員、松浦謙二倉敷市議会議長がそれぞれ祝辞を述べられた後、テープカットとくす玉開披を行い、供用開始を祝いました。

このたびの供用開始により、輸送効率が高まるとともに、震災時の物流機能を確保することができるようになり、地域の災害対応力が強化されました。



水島港国際物流センター(株)が全国初の港湾運営会社に指定されました。

水島港国際コンテナターミナルの管理運営を行う水島港国際物流センター(株)は、港湾運営会社への移行を目指して取り組みを進めてきましたが、国土交通大臣の指定同意を得て、平成26年1月20日に岡山県が同社を港湾運営会社に指定し、関沢元治岡山県土木部長から、板野忠司代表取締役社長に指定通知書を交付しました。これに伴って、現在運営する水島港国際コンテナターミナルとその関連施設に加え、完成自動車等を取り扱う玉島ハーバーアイランド4号埠頭も含めた一体運営(貸付期間・30年間)を平成26年4月から開始します。

水島港国際物流センター(株)は、県や倉敷市、日本政策投資銀行、並びに物流業者13社の出資により平成13年に設立され、平成16年4月からは、構造改革特別区域法に基づき、水島港国際物流・産業特区の「特定埠頭運営効率化推進事業(埠頭長期貸付制度)」の実施事業者として県からコンテナターミナルの岸壁・荷さばき地を含めた埠頭を一括して借り受けて運営してきました。

平成23年4月の港湾法改正に伴い、「特定重要港湾」から「国際拠点港湾」になった水島港では、現行の「特定埠頭運営効率化推進事業」の適用が重要港湾のみと規定されたことから、県では港湾運営会社制度に移行する方針を決定し、準備作業を進めてきました。

こうした中、同社より県に港湾運営会社指定申請書が提出され、県が申請内容を審査した上で、同社を港湾運営会社に指定しました。

板野社長は、「当社は港湾運営会社制度に先立つこと10年前から特区制度により、効率的な港湾運営に取り組んできた。引き続き、当社の経営方針を基に、スピード感のある効率的な物流サービス提供や利便性の高い港湾運営を行い、より使いやすいつい港にしていきたい。」と抱負を語りました。

その一方で課題として、「運営規模が拡大するため、それに応じた体制整備を行うことと、港湾関係者と連携・協力しながらの集荷促進対策を行うこと。」を挙げ、「水島港には国や県がハード面でさまざまなインフラ整備をしてきている。瀬戸内海という天然の運河としての水島港の優位性に見合った取扱貨物量の増加を目指して、柔軟で競争力のある料金を設定し、使いやすく、スピーディーで安全な港にすることで、玉島ハーバーアイランドが物流基地としての国際競争力を高めていくことが重要。」と話しました。

※国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾



新たに中国・フィリピンとの国際定期コンテナ航路が開設

平成25年10月31日、新たに中国・フィリピンとの国際定期コンテナ航路が就航することとなり、水島港国際コンテナターミナルにおいて、MITA、岡山県及び倉敷市との共同開催により、歓迎のための新規航路開設記念式典を開催しました。

今回就航したのは、中国の船社 SITC Container Lines CO., LTD 所有の「SITC KAOSHUNG(積載能力906TEU)」で、水島港には週1便木曜日に寄港します。

歓迎式典では、MITAからリージンリヤン船長に花束を贈呈するとともに、港湾管理者である岡山県から記念プレート、また倉敷市、水島港国際物流センター(株)、取扱代理店の日東物流(株)からそれぞれ記念品を贈り、お祝いしました。



水島港の外貿定期コンテナ航路等の紹介

中谷興運株式会社 玉島支店

■当社が水島港において取り扱っております船会社・航路をご紹介します。

【台湾・ベトナム航路 週1便 ◆ 韓国航路 週5便 ◆ 神戸フィーダー 週3便】のサービスを提供しております。

★萬海航運公司(WAN HAI LINES LTD) ()内は、水島港を起点とした所要日数
毎週月曜発:ダナン(-12)/CAT LAI(-10)/高雄(-6)/台中(-5)/台北(-4)/基隆(-3)~
水島(月)~基隆(+4)/台北・台中(+5)/高雄(+6)/ダナン(+9)/CAT LAI(+11)

★高麗海運(KMTC LINE)
毎週火曜発:ULSAN(-4)/PUSAN(-2)~水島(火)~ULSAN(+3)/PUSAN(+4) ※1
毎週金曜発:PUSAN(-2)~水島(金)~PUSAN(+2)
-釜山T/Sにより、東南アジア・中国主要港・華南地域(含珠江デルタ)・中近東・極東ロシアへサービス可能-

★天敬海運(CK LINE)
毎週土曜発:INCHEON(-4)/PUSAN(-2)~水島(土)~PUSAN(+1)/INCHEON(+2) ※1
毎週水曜発:PUSAN(-4)/PUSAN NEW PORT(-3)~水島(水)~PUSAN(+3)/PUSAN
NEW PORT(+4)
-釜山T/Sにより、中国主要港・ベトナム・タイ・極東ロシアへサービス可能-

★汎洲海運(PAN CON LINE)
毎週木曜発:ULSAN(-6)/PUSAN(-3)~水島(木)~ULSAN(+1)/PUSAN(+2) ※1 ※2
-釜山T/Sにより、中国主要港へサービス可能-

※1...韓国航路3船社(KMTC/CK-L/PAN CON)による共同配船便につき、
どの便へもBooking可能
※2...MOL利用により、釜山T/Sで世界各地へのサービスが可能

★ユニエックス(水島⇄神戸)内航フィーダーサービス
水島(火・木・土) ⇄ 神戸(月・水・金)
神戸本船へ接続することにより、世界各地へ輸送可能

★海上輸送のほか、通関・荷捌・保管・集荷・配送、小口混載貨物、大型重量物
などあらゆるサービスに対応可能です。
お気軽にお問い合わせ下さい。

■お問い合わせ先 中谷興運株式会社 玉島支店

〒713-8103 TEL.086-522-6321(代) FAX.086-522-6631
岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-2(玉島ハーバーアイランド内)
営業課 / TEL.086-522-7600(貨物取扱全般:武田・平松)
通関課 / TEL.086-522-6492(輸出入通関:石井・三谷原)
倉庫・陸運課 / TEL.086-522-6494(倉庫・配送:片山・中島)
海務課 / TEL.086-523-5551(船社代理店:CY:洲脇・横山)

日本通運株式会社 水島海運支店

当社は水島港より韓国(釜山)、中国(上海)をハブにドアToドアの
サービスを提供しております。

船社紹介

◎中国航路A/ 神原汽船株(Kambara Kisen Co.Ltd)
【船名】CONTRAIL SKY RESURGENCE TRIDENT MUSE
【航路】①天津/大連/青島~水島~寧波/上海 1便/週(月)
※重慶・武漢・南京・張家港・南通も可。
②寧波/上海~水島~天津/大連/青島 1便/週(火)
③上海~水島~上海 1便/週(金)

【リードタイム】(輸入)上海・青島/3日 寧波・大連/4日 天津/6日
(輸出)上海・寧波/4日 大連/9日 青島/10日 天津/7日

【船社小口混載】上海、寧波、大連、青島、天津 可。

【その他サービス】東南アジア航路(上海T/S)
(ホーチミン、ジャカルタ、スラバヤ、セマラン、シンガポール、
ポートケラン、レムチャパン、バンコク、ホンコン)
中国華南サービス(上海T/S)
(東莞、江門、中山、珠海、順徳、汕頭、蛇口、黃埔、塩田)
中東・豪州航路サービス開始(上海T/S)※2011年1月から
(ダマン、ドバイ、コロンボ、ブリスベン、シドニー、メルボルン)

◎中国航路B/ 吉舟船務有限公司(JI Zhou Shipping) 日本総代理店 株鴻洋通商
【船名】"JI PENG" "KAI PING"
【航路】①厦門/福州~水島~厦門/福州 1便/週(火)
※直行便。水島がファーストポート。
【リードタイム】(輸入)厦門/5日 福州/3日 (輸出)厦門/9日 福州/11日
【船社小口混載】福州 受付可。

◎韓国航路A/ 興亜海運株(Heung-A Shipping) 日本総代理店 三栄海運株
【船名】GLOBAL NUBIRA
【航路】①釜山~水島~釜山 2便/週(水)(土)
【リードタイム】(輸入)釜山/2日 (輸出)釜山/1日
【船社小口混載】釜山 可。
【その他サービス】全世界(釜山T/S)

その他 ①内航フィーダー/神戸~水島~三島川之江~神戸 3便/週(月)(水)(金)
サービス ②沖繩航路/那覇~水島~那覇 1便/週(木)

■お問い合わせ先 日本通運株式会社 水島海運支店

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8259-15(玉島ハーバーアイランド内)
国際輸送一課 / TEL.086-523-0203 FAX.086-523-0404(通関・フォワーディング)
国際輸送二課 / TEL.086-523-0204 FAX.086-523-0404(船社代理店関係)
海運倉庫課 / TEL.086-523-0205 FAX.086-523-1471(港湾荷役・倉庫・配送)
作業課 / TEL.086-523-0223 FAX.086-523-1471(作業関係)

株式会社 上組 玉島支店

当社が水島港において取り扱っております船会社・航路を
ご紹介致します。

1. 民生輪船有限公司

【上海航路】:週2便 ①水島(火)~上海(土)②水島(金)~上海(火)
【大連・青島航路】:週1便 ①水島(月)~大連(金)~青島(土)

※上海・大連・青島 T/Sにて寧波、天津、連雲港、蘇州、重慶、武漢、張家港その他
中国国内各港、台湾・ベトナムへのサービスも行っております。

2. 西日本内航フィーダー合同会社

【内航フィーダー】:週1便 船名:①サファイア号
神戸(土)~水島(火)~神戸(土)

3. 井本商運株式会社

【内航フィーダー】:週2便 ①神戸(火)~水島(火)~神戸(水)
②神戸(木)~水島(木)~神戸(金)

4. オー・オー・シー・エル(ジャパン)株式会社

【内航フィーダー】:週3便 ①神戸(木)~水島(木)~神戸(金)
②神戸(金)~水島(金)~神戸(土)
③神戸(月)~水島(月)~神戸(火)

その他、Hapag-Lloyd社、株式会社商船三井、東進エージェンシー株
式会社の船舶代理店業務を行っております。

■お問い合わせ先 株式会社 上組 玉島支店 港運課

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-1
TEL.086-525-8670 / FAX.086-525-0890

山九株式会社 岡山支店

◎水島港と韓国のプサン(釜山)港を結んでおり、週2便(火・土曜)運航しております。

当社は水島港において、長錦商船(Sinokor Merchant
Marine Co.,Ltd./通称:シノコー)が運航している韓国
航路の外貿定期コンテナ船舶代理店を行っております。

韓国発の輸入貨物に関しましてはプサン(月・木曜日)~水島(火・土曜日)にて、
韓国着の輸出貨物に関しましては水島(火・土曜日)~プサン(木・日曜日)にて、取扱を行っております。

■お問い合わせ先 山九株式会社 岡山支店 業務グループ

船舶代理店関係/港運係 通関・輸出入乙仲関係/輸出入係
〒712-8051 岡山県倉敷市中畷1-7-23 〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-1
TEL.086-455-8133 FAX.086-455-8167 水島港国際コンテナターミナル4F
メール mokayama@sankyu.co.jp TEL.086-525-0039 FAX.086-525-5139

プサン経由で、主に、中国主要港(大連・天津・青島・連雲港、上海・長江沿岸・寧波・香港・デルタ地域)、東南アジア諸国などの輸送サービスを行っており、特に、ロシア(ウラジオストック・ポスター二)との輸送を可能にしております。

日東物流株式会社

当社は2013年10月より新たに新海豊集装箱運輸有限公司(SITC Container Lines Co.,Ltd通称:SITC)
の運航による「関西・瀬戸内~中国・マニラ」航路の開港を行っており水島における船舶代理店を行っております。

【航路名】CJP2(毎週木曜)

輸出:大阪(火/水)~神戸(水)~水島(木)~高松(金)~釜山(土)~上海(月/火)~寧波(水)
~泉州(金)~厦門(土)~MNL-N(月)~MNL-S(火)

その他のサービスとしてT/Sによる中国全土の主要港並びに
他アジア方面も行っておりますのでお問い合わせ願います。

輸入:MNL-N(火)~MNL-S(火)~上海(土/日)~大阪(火/水)~神戸(水)~
水島(木)~高松(金)

■お問い合わせ先 日東物流株式会社 中国事業部

〒541-0048 大阪市中央区瓦町3丁目1番4号
関西営業チームTEL:06-6202-8514 FAX:06-6202-6076(営業)
運航チームTEL:06-6202-5779 FAX:06-6202-5751(オペレーション)